

仏生山まるごと動物園 2023

～こどもたちと作る地域芸術祭～

代表者 三井 美乃 (創造工学部2年)

1. 目的と概要

この事業では、高松市仏生山地区を1つの動物園として捉え、子供たちや地域住民と大学生が協力して制作した動物オブジェをまちの各所へ展示したが、その目的はつぎの3点にある。1つ目は、地域において、芸術を通じた世代間交流を促進することである。この目的の達成のために、動物オブジェを子供たちだけでなく、地域住民にも参加していただき、私たち香川大学佛生山らぼプロジェクトと一緒に制作した。

2つ目は、多くの人びとに仏生山地区を訪れてもらい、その魅力を知ってもらうことである。仏生山の様々な場所に子供たちや地域住民が作った動物オブジェを設置することで、多くの人びとの関心を得て、動物オブジェを設置した場所を回遊していただけたと考えた。

3つ目は、仏生山地区の方々に、佛生山らぼプロジェクトを知ってもらうきっかけをつくることである。佛生山らぼプロジェクトを知ってもらうことで、仏生山が抱える世代間交流の少なさ、将来の担い手不足という課題を解決する手助けに繋がると考える。

これらの目的を達成するために、この事業では、仏生山地区の子供たちや地域住民が、私たち佛生山らぼプロジェクトに所属する大学生とともに、動物オブジェを複数制作した。そして、仏生山地区を1つの動物園「仏生山まるごと動物園」として捉え、制作した動物オブジェをまちの各所へ展示した。展示の開始に際して、私たち佛生山らぼプロジェクトが毎月開催している「仏生山こどもらぼ」に所属する子供たちと大学生でチラシ配りを行った。また、展示してある動物オブジェの近くに謎を置き、それを解いてまわってもらうという「仏生山まるごと謎解きラリー」を開催することで、仏生山まるごと動物園に対して、より多くの人びとに関心をもっていただけるように努力した。昨年度、経済学部学生チャレンジプロジェクトにおいて実施した「仏生山まるごと動物園」をさらにパワーアップさせるため、昨年度よりも動物オブジェの数や種類、その設置場所を増やした。これに加えて、展示期間も昨年度の15日間から1週間延ばし、2024年1月28日から2月18日まで22日間開催することにより、より多くの人に長期間この企画を楽しんでいただけるようにした。

2. 実施期間（実施日）

令和5年7月1日から令和6年3月1日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

この事業で得られた成果は主に3つある。1つ目の成果は、世代間交流の場の創出ができたことである。動物オブジェを制作する際に地域住民に協力していただき、子供たちと関わる機会を設けることができた。また、展示の開始の際に、仏生山まるごと動物園のチェックポイントとなっている、ことでん仏生山駅とマルナカ仏生山店で、子供たちとチラシ配りを行った。チラシ配りでは親子連れや高齢者まで幅広い世代の方と交流することができた。さらに動物オブジェを置かせていただくお店のいくつかには子供たちとともに交渉にうかがった。地元のお店の方々と話す機会だけでなく、普段の生活にはないことを体験してもらうこともでき「仏生山こどもらぼ」活動の点においても良かったと考える。

2つ目の成果は、「仏生山まるごと動物園」を開催する期間と同時に「仏生山まるごと謎解きラリー」を開催することで、子供から大人までより多くの方々に関心を持っていただき、参加することで楽しみながら仏生山の魅力を伝えられたことである。謎解きラリーに参加していただいた方から「普段あまり外に出ないからたくさん歩く良い機会になった」や「謎解きが子供たちと一緒に考えるのに良い難易度だった」、「行ったことのないお店に行くことができた」などの感想をいただいた。参加した多くの方々から仏生山というまちを知るきっかけや魅力の再発見ができたと考えている。

3つ目の成果は、佛生山らぼプロジェクトを知ってもらう良いきっかけになったことである。昨年度に引き続き「仏生山まるごと動物園」を開催することで、地域住民からの認知を昨年度より感じる事ができた。地域住民から「昨年度も開催していたのを見た」や「大学生が仏生山を盛り上げてくれて嬉しい」などの意見も聞くことができた。また、昨年度よりも多くのお店にご協力いただき、地域住民との繋がりを広げることができたことに加え、幅広い年齢層の方々にも知ってもらえたと感じている。





仏生山まるごと動物園

開催日：2024/1/28 (日) ~ 2/18 (日)

※屋内展示については、各展示場所の園内案内にてご覧いただけます。

仏生山の町に大学生と子供たちが制作した動物オブジェがあるよ！
みんなて町を歩いて、会いに行ってみてね！
どんな動物がいるかな？

主催 香川大学佛生山らぼプロジェクト
共催 仏生山地区コミュニティ協議会 元気の素部会

この活動は令和5年度香川大学学生支援プロジェクトのご支援を受けております。

仏生山まるごと動物園マップ

同時 謎解きラリー

全問正解を目指して、挑戦してみよう！
(謎は動物オブジェと一緒に設置されています)

解答用QRコード

仏生山まるごと謎解きラリー

参加費 百円
※小学生以下は保護者同伴

場所 高松市仏生山交流センター
交流広場
目印はこの法被です↓

日時 二〇二四年一月二十八日(日)
十二時~十五時(この時間帯はいつでも参加可)
少雨決行
中止の場合は十二時までにSNSでお知らせします。

主催 香川大学佛生山らぼプロジェクト
Instagram Facebook
共催 仏生山地区コミュニティ協議会 元気の素部会

仏生山 ぼうぶつ ポイント マップ

この活動は、令和5年度香川大学学生支援プロジェクトのご支援を受けております。

※在校生とその保護者の方以外は、仏生山小学校の校内に入ることできません。

ハルルール

- スタート：ゴールはからうど仏生山 交流広場
- 十五時までの間にゴールしよう。
- 解答は解答用紙から。
- マップを見ながら動物を探そう。
- 動物の近くには謎があるよ。
- たくさんまわって景品をゲットしよう。

景品

- 五か所以上まわってくれた方は、ガラガラを一回引けるよ。
- 当たりは千円相当の景品があるよ。
- 十か所以上まわってくれた方には、ガラガラ一回に加え、先着十名様で特典もあるよ。

持ち物

- 飲み物
- 解答题用紙(参加費と引き換えにお渡しします。)

↑チラシ配り、謎解きラリーの様子

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

この事業を実施したことにより、地域住民に香川大学の地域活性化に向けた活動を知ってもらうことができたと考える。昨年度よりもチェックポイントを増やしたため、許可取りの際には、より多くの地域住民に私たちの活動を知ってもらう機会となった。このような場面を通して、私たちのプロジェクトや、それを支えていただいている香川大学が「地域に根差した学生中心の大学」であることについて、より多くの地域住民に知ってもらうことができた。

また、地域社会に与えた影響としては、地元メディア（読売新聞）に今回の活動を掲載させていただいたことから、少しでも仏生山に興味を持ってもらうきっかけや、仏生山に足を運ぶ機会の増加に繋げることができたと考えられる。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今回の活動を通して、私たちの活動が多くの地域住民に支えられていることを改めて実感した。今回の活動では、仏生山地区の子供たち、大人の方、お店や施設の方など、多くのみなさんの助けがあったからこそ、進めることができた。佛生山らぼプロジェクトは、「仏生山こどもらぼ」で小学生と大学生が主体となって活動を行っているが、子供たちが「仏生山こどもらぼ」に参加しているのは当たり前のことではない。子供たちの保護者も私たちの活動にご理解いただき、ご参加いただいているからこそ、私たちは仏生山地区で活動ができていくことに改めて気が付いた。そして、仏生山地区コミュニティ協議会「元気の素部会」や、女性の会などの仏生山地区のみなさんには、「仏生山まるごと動物園」の動物オブジェ制作や、「仏生山まるごと謎解きラリー」の運営にご協力いただいた。仏生山地区のお店や施設など15カ所の関係者のみなさんには、動物オブジェ展示および「仏生山まるごと謎解きラリー」にご協力いただいた。このように、仏生山地区の様々な人びとの支えがあって、今回の活動は成り立っている。支えてくださっている方々のためにも、この活動を継続し、仏生山地区を盛り上げることで、これからも還元していきたいと感じた。

また、日程調整や打ち合わせを電話やメール、話し合いで行ったり、イベントで参加者とやり取りをしたりするなかで、私たちのコミュニケーション能力を養うことができたと思う。直接コミュニケーションをとることで、地域のみなさんとの繋がりを感じられ、活動がより楽しくなり、地域のみなさんの支えのありがたさを知った。地域のみなさんのご協力を得ながら活動を進めていくなかで、余裕のある計画を立て、その計画通りに活動を進めていくことの大切さも知ることができた。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今回の活動の反省点としては、主に2つある。1つ目は、広報活動が遅くなってしまったことである。活動では「仏生山まるごと動物園」と「仏生山まるごと謎解きラリー」を行い、広報活動としてチラシ配りを行った。しかし、準備の遅れにより、広報活動も後回しになり、「仏生山まるごと動物園」開園と「仏生山まるごと謎解きラリー」開催の当日にチラシ配りを行うことになった。「仏生山まるごと謎解きラリー」のチラシを受け取ってくださっ

た方のなかには、興味はあるが予定が合わずに参加できなかった方がいた。謎解きイベントとしては30人を超える方が参加してくださり、賑やかなものになったが、余裕のある計画を立て、もう少し早い時期にチラシ配りをしていけばより多くの参加者が集まったのではないかと考える。

2つ目は、活動を通して小学生、大学生、地域の大人の方々の間で世代間交流はできたが、中学生や高校生とは交流できなかったことである。そこで今後の展望として、中学生高校生との交流の機会を作るために、「仏生山こどもらぼ」の中学生や高校生メンバーを募りたいと考える。課題である中学生・高校生の交流機会を作るとともに、中学生や高校生がいるからこそできることを見つけて、活動の幅や規模を広げていきたいと考える。活動をより発展させるためにも、余裕のある計画を立てることを心がけたい。

7. 実施メンバー

代表者 三井美乃（創造工学部2年）

構成員 犬田朋花（経済学部4年）

難波穂乃花（経済学部4年）

小松真子（経済学部3年）

小林龍生（経済学部3年）

門脇優夢（経済学部3年）

平田智望（創造工学部3年）

伊勢田乃愛（創造工学部3年）

大枝俊介（創造工学部3年）

徳永来暉（創造工学部3年）

井田雄揮（法学部3年）

植条美祐紀（経済学部1年）

宇野早織（経済学部1年）

岸本直人（創造工学部1年）

8. 執行経費内訳書

配分予算額		185,979円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
旅費(仏生山-瓦町 大人・往復)	24	720	17,280	
旅費(仏生山-栗林公園 大人・往復)	2	540	1,080	
旅費(仏生山-瓦町 大人・片道)	3	360	1,080	
旅費(仏生山-瓦町 大人・片道)	1	350	350	ICカード利用の為、片道料金から10円割引
旅費(伏石-瓦町 大人・片道)	1	200	200	
かる〜い紙ねんど ふわふわかる〜ん	20	306.9	6,138	(株)MonotaRO(デビカ)で購入
平筆	7	174.9	1,224	(株)MonotaRO(タミヤ(TAMIYA))で購入
紙コップ	2	164	328	(株)MonotaROで購入
刷毛	8	141.9	1,135	(株)MonotaROで購入
セロテープ	1	440	440	(株)マツシタで購入
布テープ No.600V	10	154	1,540	(株)マツシタで購入
書道半紙 練習用	1	1,760	1,760	(株)マツシタで購入
ボンド木工用	5	258	1,290	(株)マツシタで購入
ユニ 色鉛筆880	2	638	1,276	(株)マツシタで購入
ブロッキー8色セット	2	836	1,672	(株)マツシタで購入
マット水彩絵の具 15色	7	1,254	8,778	(株)成豊堂で購入
アラビックヤマト糊 NA-300	50	319	15,950	(株)成豊堂で購入
オリジナルTシャツ	15	3,200	48,000	(株)ラブ・ラボで購入
ガソリン			1,134	(株)ヤマウチで購入(11月3日)
クリップ付きペンシル DA-448-D	2	681	1,362	(株)MonotaROで購入
カネヨノール (洗濯糊)	5	262.8	1,314	(株)MonotaRO(カネヨ石鹸)で購入
印刷/A4フライヤー・チラシ	1,500	3.1	4,630	プリントネット(株)
印刷/A4フライヤー・チラシ	1,500	3.1	4,630	プリントネット(株)
印刷/A4フライヤー・チラシ	100	36.7	3,670	プリントネット(株)
画用紙 四つ切り	1	3,069	3,069	(株)MonotaRO(アーテック)で購入
色画用紙 50色	2	1,077	2,154	(株)MonotaRO(オキナ)で購入
合計			131,484	